



「作って楽しむパソコン講座」はじまる

先月号でもお知らせしましたが、障がい者の方のパソコン講座が10月よりスタートします。10月は“キーホルダー・ストラップ作り”です。11月は“年賀状作り”になります。

なお10月の講座は2日(月)、16日(月)、30日(月)の3回です。多数の会員様に講師やサブ講師としてご協力いただきありがとうございます。

次月号では講座で作成された作品を紹介しますのでご期待ください。

「視覚障がい者向けパソコン講座」はじまる

障害者福祉センター主催の視覚障がい者向けパソコン講座が8月より始まりました。講座は8月～10月、計12回開催されます。CTF松阪からはサブ講師としてこの講座に参加しています。

PC画面等現在の状況を視覚障がい者の方にお知らせし、講座の内容が理解しやすくなるよう補助をしています。会員の皆様におかれましては一度サブ講師として参加してみてください。



四五百

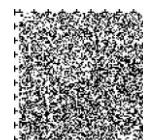
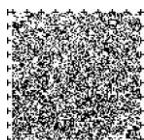
「気分は二十歳すぎ！！」

秋になると敬老会やら福祉会等、高齢者に関する会が沢山開催されます。私も三年前に孫が生まれ“ジイジ”と呼ばれるようになりました。本人は“気分はいつも二十歳すぎ”と思っておりますが、周囲はそのように見てくれません。特に、孫が生まれ、その孫から“爺”と呼ばれると私もそのような歳になったのかなあと外から思い知らされます。

先月の敬老の日には、2人の孫から“おじじ、おばば”への絵手紙を貰い、同世代の方から敬老会に行って楽しんできた話を聞くと、さすが還暦過ぎているのだなあとシミジミと思います。また、私は高橋真理子の歌が好きなのですが、先月彼女のコンサートに行きましたら、思い知らされました。前の方の客席を見たら、頭の剥げた高齢者と思える方々が一生懸命高橋真理子の曲に合わせて団扇を振っていました。高橋真理子さんも観客席を見渡しながら「ウ～ン、若い方はいませんね～」と唸っておられました。されど“気分は二十歳すぎ！！”(歳は大きく二十からは過ぎていますが、二十過ぎには間違いありません) Y. T



今月号は文字数が多いので、第1ページ、第3ページ、第4ページにSPコードを2個付けてあります。第1ページ、第3ページ、第4ページでは、先に左下のSPコードを、次に右下のSPコードを読んでください。

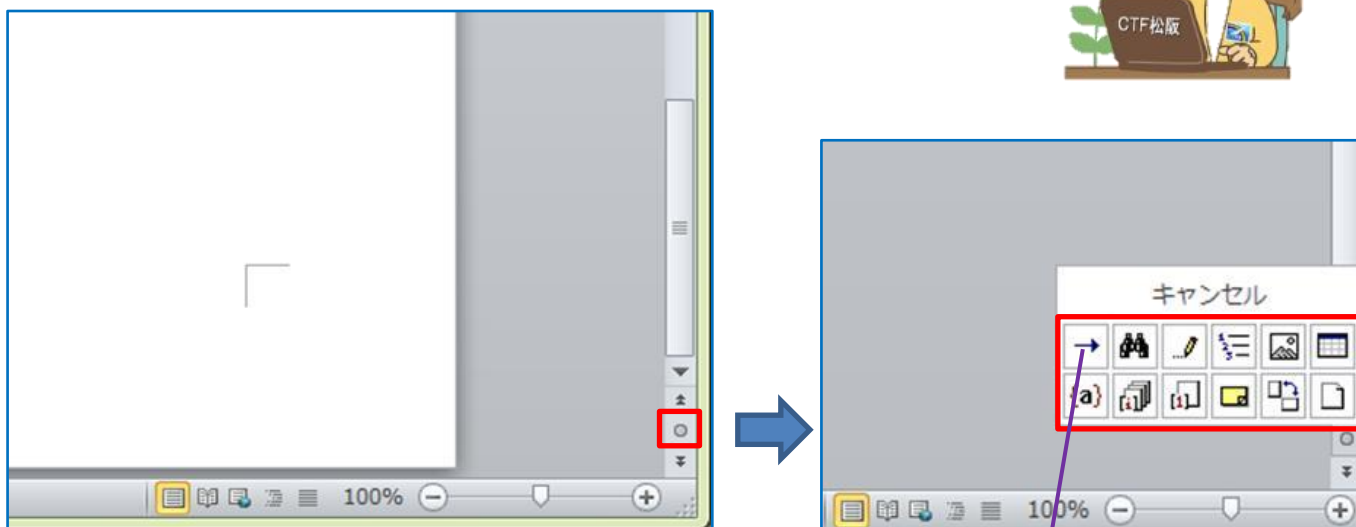


Word ジャンプする単位を必要に応じて変更する方法

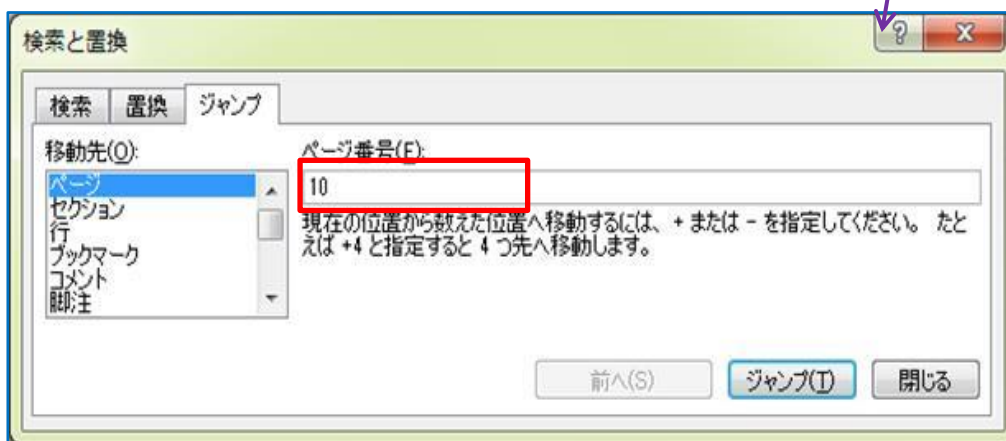


Wordでは、縦スクロールバーの下にジャンプボタンが用意されている。クリックするだけで次のページや前のページにジャンプできて便利なのだが、このジャンプする単位を変更する方法を紹介する。

1. ジャンプボタンをクリックしジャンプ単位を選択する。

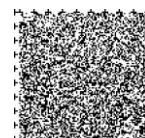


[ホーム]タブ→[編集]から[検索▼]→[ジャンプ]をクリックでも表示します。



※文書のページ数が多いときに素早く移動したい場合には、ジャンプ機能を使うと大変便利です。

この機能を使って文書内の目的の場所へ移動するには、ページ番号のほか、行番号、ブックマーク名、脚注番号、表番号、図番号などが用意されています。





活動報告



【9月】

障がい者対象個人向けパソコン講座

(5日、12日、19日、26日)

難病患者さんへの意思伝達支援

(21日)



活動予定



【10月】

会員親睦会

7日

障がい者対象個人向けパソコン講座

3日、10日、17日、24日

作って楽しむパソコン講座

2日、16日、30日

徒然なるままに

お伊勢さん 125社というのをご存じじゃるか？

1000年以上も前、製氷する技術が無かった時代には、冬場にできた天然の氷を溶けないように保管する必要があったのじゃ。正確な記録は残されていないが、洞窟や地面に掘った穴に茅(かや)などで小屋を建てて覆い、保冷したとされておる。それが“氷室(ひむろ)”と呼ばれたんじゃ！

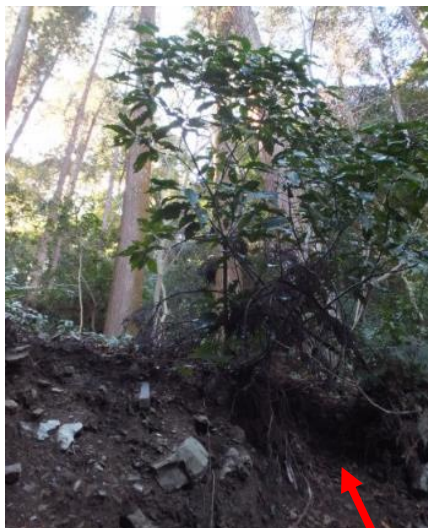
氷室の中は地下水の気化熱によって外気より冷涼であるため、涼しい山中などではこの方法で夏まで氷を保存することができたそうじゃ。すごい知恵じゃのう。このように天然の氷を保管するしかない時代、夏場の氷は貴重品であり、長らく朝廷や将軍家など一部の権力者のものじゃった。

大日山の中腹にある鴨神社(玉城町)をはじめその近くに、氷室に関する地名、字名が残っているそうじゃ。調べてみたがようわからんかった。隣町の明和町にあった斎宮寮では、5月～8月にかけて斎王に毎日ひとかけらの氷を供した、という記録があるそうじゃ。

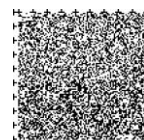
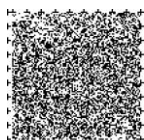
氷室は 玉城町周辺に相当数あったようで ひんやりとした谷間に、設けられていたようじゃ。



“氷室”の案内板



大日山の中腹にある”氷室”





秋 三 話

H.O

暑かった夏もやっと終わりましたね、秋を探しにお出かけになってはいかがですか？
近すぎず・遠すぎず、ゆとりをもって行けるところを、筆者の経験と独断でご紹介しましょう。
(見ごろは 10 月下旬～11 月中旬ですが、事前にネット等でご確認ください)



香落溪
(三重県名張市箕曲中村)

三重県での紅葉の名所として知られる香落溪（こおちだに）。青蓮寺ダム湖の奥、青蓮寺川に沿う渓谷と溪流の景勝が約 8km にわたって続き、溪流の両岸に断崖と柱状節理の岩肌がそびえ立つ雄大な風景です。春はヤマブキやツツジが色鮮やかに咲き、夏は清流からカジカの声が聞こえ、冬には樹氷の花が咲くなど 1 年を通して楽しめますが、何と言っても全山が燃えるような紅葉に彩られる秋が一番です。



場所はスマホで →



神宮萱山
(三重県度会郡度会町川口)

伊勢神宮の社殿の屋根は、ススキを使って葺かれますので「萱葺（かやぶき）」と呼ばれています。社殿造営には、この萱、長さ 7 ～9 尺 (2.1m～2.7m)・直径約 40cm・重さ約 40kg の束が 23,000 束必要とのこと。このススキを栽培している「萱場」が度会町にあります。神宮の管理地のため中へは入れませんが、遠くからでもススキの穂が日差しを浴びて銀色に輝き見事です。



場所はスマホで →



旧神宮工作所の銀杏並木
(三重県伊勢市宇治館町)

伊勢市内の有名な紅葉（黄葉）スポットです。県営総合競技場へ向けて、浦田橋を渡ってすぐの信号を右折したところにあります。神宮の所有地ですが通り抜けはさせてもらえます。延長は 100m くらいであり長くはありませんが、両側の銀杏並木が黄金色に染まり、道路には銀杏の落ち葉が散り敷き、キラキラ輝いている様子は圧巻です。



場所はスマホで →



編集後記

朝晩めっきり涼しくなってきましたね。

秋は涼しい風が心地よく、旅行に最適な季節です。紅葉狩りや秋の味覚を楽しみに出かけてみませんか・・・こんな文句の広告をよく目にするようになりますね。

お出かけするならやっぱり温泉がいいですよ。ゆったりお湯につかって、風呂上がりにビールを一杯う～ん



CTF 通信第 175 号

2017 年（平成 29 年）10 月発行
発行者 IT を活用した障がい者支援 NPO 法人
CTF 松阪
発行責任者 山 田 則 男
住 所 〒515-0081
松阪市本町 2181-1
電 話 0598-21-7268
U R L http://ctf.dip.jp/

